

医薬品リスク管理計画
(RMP)

鶴原製薬株式会社

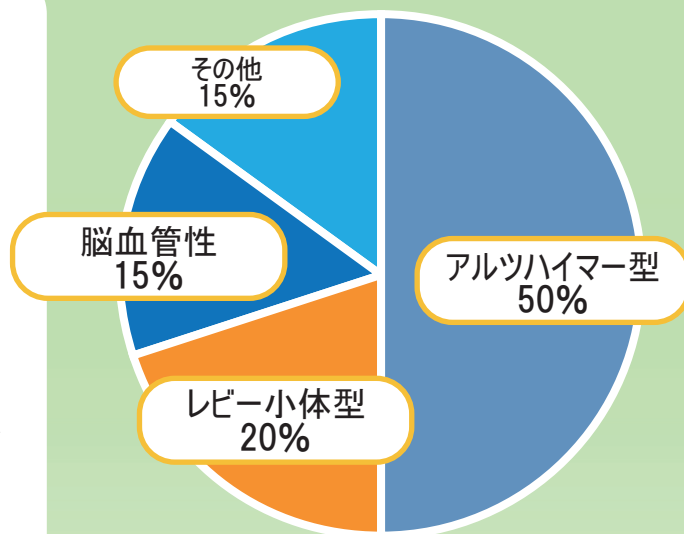
ドネペジル塩酸塩錠 3mg/5mg/10mg「TSU」を
適正に服用いただくために

レビー小体型認知症患者さんのご家族や介護者の皆様へ

■ レビー小体型認知症とは

認知症は、もの忘れのほかにも、時間や場所などがわからなくなったり、少しずつ身の回りのことができなくなったりする病気です。認知症の種類は、原因になる病気によって 70 種類くらいに分けられますが、そのなかで多いのが、①アルツハイマー型認知症、②レビー小体型認知症、③脳血管性認知症です。それら 3 つを総称して、“三大認知症” とよばれています。

脳の中に「レビー小体」という物質が多くみられます。このレビー小体が大脳に広く現れると、その結果、認知症になります。原因は今のところ十分にわかっていませんが、誰にでも起こる病気です。



認知症の種類と割合

レビー小体型認知症の症状

レビー小体型認知症においては、他の認知症類型と同じく物忘れなどの記憶障害や、時間や場所、人の認識がうまくできなくなる見当識障害、ものごとを計画立てて行うことが難しくなる実行機能障害などの症状もみられますが、以下のようなレビー小体型認知症に特有の症状がみられます。

■パーキンソン症状

手足がふるえる、動きが遅くなる、筋肉が硬くなる、無表情、姿勢が悪くなる、歩幅が小さくなり、歩き始めの足が出しづらくなる一方、歩行し始めると突進してしまう

■幻視

存在しないものが見えてしまう

■睡眠時の異常行動

睡眠中に大声で叫んだり、暴れたりするなどの行動をとる

■自律神経症状

立ちくらみや寝汗、頻尿や便秘、動悸やだるさなど、多様な身体の不調が生じてきます

■認知機能や意識レベルの極端な変動

日によって調子の波が大きく、一日のうちでも変動する傾向があります。食後に急に無動状態になったり、夕方に幻視をみることもよくあります。

ドネペジル塩酸塩錠 3mg/5mg/10mg「TSU」について

ドネペジル塩酸塩錠 3mg/5mg/10mg「TSU」は、レビー小体型認知症でみられる認知機能の障害を改善して、症状が進行するのを遅らせるお薬です。

また、レビー小体型認知症の認知機能障害に特徴的な、注意力の低下を改善し、注意力や覚醒の変動などを少なくするといわれています。

主治医の指示に従って決められた量を服用してください。

1日1回3mgから開始し、1～2週間後に5mgに増量し、その後、4週間以上経過後に10mgになります。

この薬は1日1回服用してください。

飲み忘れても次の日に2日分を一度に服用しないでください。

過量に飲んでしまった場合は直ちに病院へ連絡してください。

ご自身の判断でお薬の服用を中止しないでください。

いつもと違う症状が続く場合は主治医にご相談ください。

ご家族・介護者の皆様へのアドバイス

■転倒に注意してください

レビー小体型認知症では、筋肉や関節が硬くなるとともに身体のバランスを保つことが難しくなり、パーキンソン症状などが原因で転びやすくなることに注意してください。外出などの際には、家族と一緒に出かけ転倒しないように手助けをすることが大切です。階段の上り下りは手すりを利用したり、つまずきやすいものなどは片づけて居住スペースの整理整頓をしましょう

■食べ物などが、飲み込みにくくなります

症状が進行すると飲み込む機能が低下して、唾液や食べ物が気管に入ってしまうことがあります。誤嚥を防ぐために、細かく刻んだり、飲み込みやすいようにするなど工夫をしましょう。また口の中が乾燥しないように水分補給にも気をつけましょう。